農村を未来へつなぐ　農業・農地の継承シンポジウム
開　催　要　綱

1　趣旨

本県では、人口減少や高齢化の進行に伴い、これまで地域で守り続けてきた農地や農業用施設の維持・保全が課題となっている。各地域では、中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度を活用し、農業者を中心とした地域の関係者が、草刈りや水路の管理などの共同活動に取組み、農地と農村の暮らしを支えてきた。

こうした農地を守り、共同活動を継続していくためには、農業・農地の継承について、地域の関係者が早い段階から考え、話し合い、将来に向けた準備を進めていくことが重要である。

そこで、農業・農地の継承に関する現状や事例を共有し、農村を未来へつないでいくための方策について考える機会として本シンポジウムを開催する。

2　開催日時及び場所

日時：令和８年 10 月 20 日（火）　13 時 30 分 ～ 15 時 30 分

場所：山形国際交流プラザ 山形ビッグウイング
２階 交流サロン（山形市平久保 100 番地）

3　プログラム

（１）主催者挨拶

（２）講演・事例紹介等

①「農業・農地の継承をめぐる現状と課題」（30 分）
講　師：小室 邦秀 氏（やまがた農業支援センター　経営支援主幹）

②「地域維持に向けた農業継承支援と行政の役割」（30 分）
講　師：伊藤 淳 氏（朝日町農林振興課　課長）

③ 「農地を託す側の想いとこれからの地域農業」（15 分）
講　師：土田 治夫 氏（酒田市）

④ 「地域の未来を担い、継承していく現場から」（15 分）
講　師：渡辺 豊 氏（東根市）

（３）全体の質疑応答

4　参加者

会場参加者：150 名程度
（参集範囲／中山間地域等直接支払協定の構成員、多面的機能支払活動組織の構成員、指定棚田地域振興協議会の構成員、農業関係団体、市町村、地域おこし協力隊　等）